平成26年12月5日

山梨大学(医病)附属病院渡り廊下等改修その他工事　　質疑に対する回答について

| No | 図面番号 | 質　疑　事　項 | No | 回　　答 |
|---|---|---|---|---|
| 1 | D-04 | 中央診療棟の工事について、外部足場設置は本工事と考えて宜しいでしょうかご指示ください。 | 1 | よろしい。 |
| 2 | D-04 | 同上質疑が本工事の場合、資材の搬出入は既発注工事敷地内での通路確保は可能でしょうか、ご指示ください。 | 2 | 可能です。 |
| 3 | D-04 | 建具鉄板塞ぎ部でその外側に取り付ける鉄板は表面と裏側共DP塗装と考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。 | 3 | よろしい。 |
| 4 | D-04 | 建具鉄板塞ぎ部でその内側に取り付ける鉄板は表面のみDP塗装とし裏面は素地そのままと考えて宜しいでしょうか、ご指示下さい。 | 4 | 図面変更指示書による。 |
| 5 | D-04 | 建具鉄板塞ぎ部でその建具内側の仕上げはモルタル塗り又はPB貼りのどちらでしょうか、ご指示ください。 | 5 | 図面変更指示書による。 |
| 6 | D-04 | 建具鉄板塞ぎ部でその建具内側の鉄板はモルタル塗り又はPBを一部撤去し躯体に固定すると考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 | 6 | 図面変更指示書による。 |
| 7 | D-04 | 建具鉄板塞ぎ部でその建具内側に取り付ける鉄板の外周部及びジョイント部はシーリング無しと考えて宜しいでしょうか。ご指示ください。 | 7 | よろしい。 |
| 8 | D-04 | DP塗装の材料はフッ素系又はポリウレタン系のどちらを利用しますか、ご指示ください。 | 8 | フッ素系とする。 |
| 9 | | 渡り廊下①、外来棟の工事部分で外部足場設置に伴って、樹木の枝が緩衝するので、枝払いをしてよろしいでしょうか、又処分はどのようにしますか。 | 9 | 枝払いはして良い。又枝等は、場外搬出適切処分とし工事範囲とする。 |
| 10 | | 渡り廊下①のステンレス製自動ドア、アルミ製自動ドア下枠撤去、仕上げ(撤去、モルタル復旧、長尺シート貼り)は平日可能でしょうか、又可能であれば、病院関係者の為通行止めは可能でしょうか | 10 | 平日の作業は可能とするが、通行止めは不可。(土、日の通行止めは可能) |
| 11 | | 渡り廊下①の2階新設SD-01の施工時(軽量下地組、建具取付等)安全の為通行止め等可能でしょうか | 11 | 平日の作業は可能とするが、通行止めは不可。(土、日の通行止めは可能) |
| 12 | | 天井一部石膏ﾎﾞｰﾄﾞ一部撤去・復旧とありますが、天井下地とも撤去でしょうか、又渡り廊下③の天井は既存が岩綿吸音板なので岩綿吸音板の積算で良いでしょうか | 12 | 下地は撤去しなくても良い。渡り廊下③の天井仕上げは図面変更指示書による。 |
| 13 | | 既存建具(SD)塗り替え部分で、常時開放防火戸等の作業日は平日で可能ですか。(扉を閉めて塗装する場面有り) | 13 | 平日の作業は可能ですが、両扉閉めた状態で通行止めになるのは不可。 |
| 14 | | 窓改修すべてに共通しますが、天井改修、サッシ改修など1カ所ずつ進めていく工法ですか？又撤去と仕上げにインターバルが出ても良いですか？その場合の雨、風対する養生はどのようにしますか？ | 14 | 作業工程は受注者の行程による。ただし防犯や風雨については必要最低限の対策を行うこと。 |
| 15 | | 渡り廊下①・②窓廻り改修で、手術室廻り以外の工事は平日ですが、廊下などの通行する人の安全確保はどうしますか？1フロアーずつ通行止めできますか？渡り廊下③も含めて間仕切り設置の場合、廊下の両側養生すると通行に支障が出ます。 | 15 | 平日は片側通行できるように、バリケード等で工事エリアと通路エリアを明確にし安全対策を行うこと、また通行止めにする場合は土.日の作業とする。 |
| 16 | | 渡り廊下③の工事で材料の搬出入は臨床研究棟のエレベーターの使用は可能でしょうか。 | 16 | 土、日は可能、平日は不可。 |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |
| | | | | |